F

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

「ゆ・ら・ゆ」の徹底で防ごう、大型車の車輪脱落事故



<mark>とさない!</mark> 脱落防止はまず点検。

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ 唯一かつ最善な手段です。





やんと清掃、 ちゃんと給脂!

ボルト、ナットの錆や汚れを落とし、エンジンオイルなどを 塗布してください。ナットをボルトの奥まで回転させたとき、 ナットやワッシャーがスムーズに回転するか点検します。

●ワッシャーが固着していたりはずれかかっている場合は、 ナットを交換してください。 ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れずに!







(ナット)

ット締め、トルクレンチを必ず使用!

適正なトルクレンチを用いて規定のトルクで確実に締め付けます。



● 初期なじみのため、タイヤ 交換後50~100km走 行後を目安に増し締めを 実施してください。





ちにち一回、緩みの点検!

運行前にボルト、 ナットを目で見て 手で触って点検。



●特に脱落が 多い左後輪 は重点的に 点検を。



正しい点検方法を 動画でチェック!





ホイールナットの緩みが一目でわかり、 高精度な点検が誰でも手軽にできる 「連結式ナット回転指示インジケーター」の 使用方法も動画でご確認いただけます。



詳しくは、 こちらから



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(いすど自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラックス) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会日本自動車や工業会日本自動車輸入組合日本自動車機械工具協会日本自動車機械器具工業会自動車用品小売業協会日本自動車車体整備協同組合連合会



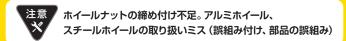
0 0 0

タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる

車輪脱落事故が発生しています!

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締付けトルク」で行ってください。

※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。



その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ISO方式

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませ同転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ディスクホイール、ハブ、ホイール ボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!

ホイール締付け方式

ホイールの締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。 また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールのセンタリング ホイールサイズと 19.5インチ: 8本(PCD275mm) ボルト本数(PCD) 22.5インチ: 10本(PCD335mm) アルミホイールの 履き替え M22 ボルトサイズ 左右輪:右ねじ(新·ISO方式) ねじの方向 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ(従来ISO方式) 後輪ダブルタイヤの ホイールナット 平面座(ワッシャー付き)・1種類 締付け構造 使用ソケット 33mm(従来ISO方式の一部は32mm) ダブルタイヤ 一つのナットで共締め

